

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------|--|--|---|
| .理念に基づく運営 | | | |
| 1.理念と共有 | | | |
| 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らし暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 会社としての理念と各事業所の理念があり 申し送りや定期的なミーティング時に全職員で話し合い徹底している。 | ホームの玄関の所と各階のステーション内に掲げており 全職員で常に心掛けている。 |
| 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し 理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 日々常に心掛け理念を改めて、把握した上で日々のケアで取り組んでいる。 | 毎日、朝の申し送り時に介護の心得10ヶ条を唱和し常に意識し、取り組んでいる。 |
| 3 | 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | ご家族や地域の方に、理解していただける様に、毎月の通信などの配布している。 | 交流が常に図れる様に、定期的に家族会や行事を行ない、意見や情報交換が出来る環境を増やして行きます。 |
| 4 | 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 地域の方に積極的に挨拶を心掛けホーム周辺の、清掃活動を行いコミュニケーションを図っている。 | 毎月の通信にホームでの行事報告・予定など掲示し地域の方も参加しやすい様に工夫してます。 |
| 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域交流の為に、地域行事への参加を積極的に行っている。(地域主催の夏祭り・社会福祉協議会主催のふれあいフェスタへの参加) | 2ヶ月に1度の運営推進会議を含め、情報を収集し地域交流をより深くしてます。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------|--|--|-----|---|
| 6 | 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | 各事業所にて、地域密着委員を設置しており定期的に会議を行い、取り組み内容の報告やアドバイスをもらい、常に工夫し取り組んでいる。 | | 定期的に会議を行いながら、地域貢献について取り組みを行っている。 |
| 3.理念を实践するための制度の理解と活用 | | | | |
| 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 定期的に自己評価を行っており個人個人の努力する所を主にホーム内勉強会を行なっている。 | | その都度、改善が必要と思われる事は、直ぐに取組める様に努力している。 |
| 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月に1度のペースで定期的開催しホームの状況報告、参加ご家族・町議の方からの助言・意見などをいただいている。 | | 情報交換や助言・意見など聞き、今後の取り組みに繋げている。 |
| 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者らと運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 役場の担当の方と、定期的に連携を取り情報交換をし、サービスの質の向上に取り組んでいる。 | | 市町村との連携が常に図れる様に、定期的な訪問を心掛けている。 |
| 10 | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 内部・外部研修に積極的に参加し全職員で共有する様に努力している。 | | 常に勉強会に参加する機会を設け、しっかりと理解したうえで活用出来るようにしている。 |
| 11 | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 日々、精神的・身体的に虐待にあたる事はないかを、常に確認しながら支援している。また定期的なカンファレンスで話し合いを行っている。 | | ホーム内勉強会も含め、積極的に参加し全職員で再度確認しケアにあたっている。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--|---|-----|---|
| 12 | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだし解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | 御入居者・ご家族の不安軽減が図れる様に、どんな事でも相談しやすい雰囲気にも十分に注意している。 | | 不安な事など相談しやすい雰囲気やホーム全体の雰囲気にも十分気を付け職員の言葉使い・対応に十分注意している。 |
| 13 | <p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | 苦情または、苦情に繋がると思われる事は直ぐに全職員に知らせ、即改善策を考え、再発防止に努めている。 | | 日々の会話の中で相手の気持ちをくみ取り、安心して生活出切る様な環境作りに努めている。 |
| 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | 毎月の通信にて、日々の状況報告を行っている。また、状況に応じ電話で報告する事もある。 | | 面会時やご家族の方から、連絡あった際にも、状況報告している。 |
| 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | 家族会等含めご家族より意見をいただき、改善策を考え対応している。 | | 常に家族からの要望等に耳を傾け、全職員で共有し的確に対応出来る様に工夫している。 |
| 16 | <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | 定期的にホームにて、ミーティングを行い職員同士の意見交換を行っている。 | | |
| 17 | <p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | 行事などの時は、人員を確保し勤務調整を行っている。安心・安全を常に考えながら、対応している。 | | 状況に応じ職員と話し合い勤務調整を行なっている。 |
| 18 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | 御入居者・ご家族の方に、不安感を与えない様に、しっかりとした情報の共有などの徹底を行っている。 | | 利用者へのダメージを防ぐ為に、利用者様にとっては、いつも変わらない環境維持に工夫する。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------|--|---|---|
| 5.人材の育成と支援 | | | |
| 19 | <p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p> | <p>経験の有無など考慮し性別・性格などを理由に採用対象から排除しない様になっている。</p> | <p>人権の尊重をし、その人らしく生き生きと仕事が出来るように、勉強会など含め積極的に参加しやすい環境作りをしている。</p> |
| 20 | <p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p> | <p>常にミーティングや会議等で人権教育・啓発活動に取り組んでいる。</p> | |
| 21 | <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>それぞれの課題で研修・勉強会を行なっている。(新人・管理者・リーダー職など段階に応じ開催している。)</p> | |
| 22 | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>常に同業者や医療関係者との交流を図れる様に、取り組みに力を入れている。</p> | |
| 23 | <p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p> | <p>個人面談で意見交換など行い、少しでもストレスを軽減出来る様な、環境作りに取り組んでいる。</p> | <p>定期的な食事会など懇親会などを開催し、ストレス軽減を図っている。</p> |
| 24 | <p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p> | <p>職員1人1人が自信を持って取り組める様にそれぞれ、良いところを伸ばせる様にしている。</p> | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------|--|---|--|
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 25 | <p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> | <p>日々の会話の中より、不安・不満に感じている事を即受け止める努力をしている。</p> | <p>ご本人の求めている事を、どれだけ受け取り安心して生活していただけるのか、日々努力している。</p> |
| 26 | <p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> | <p>面会時や家族会など含め、話しが出来る機会を工夫し、いつでも、ご本人・ご家族が話しやすい環境作りに努めている。</p> | <p>入居者担当制にしたうえで、顔なじみになり、より相談しやすい雰囲気作りを工夫している。</p> |
| 27 | <p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>初めて来苑された際に、相手の意向をお聞きし、介護サービスをどの様に利用されるか等を、詳しくお聞きしている。</p> | |
| 28 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気、徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>ご家族から、ご本人の今までの生活状況などの情報をしっかりと、お聞きしその方が徐々に馴染める様にしている。</p> | <p>その方にあったペースで、生活出来るように、また安心して過ごせる様に工夫している。</p> |
| 2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | |
| 29 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | <p>常に相手の立場になり、常に尊重するということ、忘れない様にし対応している。</p> | <p>信頼関係が築ける様に日々しっかりと傾聴し喜怒哀楽が、少しでも共有出来るということを大切にしている。</p> |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|---|--|-----|--|
| 30 | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | 常に御入居者・ご家族様・職員と共に喜怒哀楽を、共有する努力をし、より良い関係が築ける様に日々取り組んでいる。 | | 常に相手の立場になり、ご家族と一緒にご本人を支えて行ける様に色々な話し合いを大事にしている。 |
| 31 | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | これまでの、お互いの関係についても、しっかりと情報収集しより良い関係が築ける様に支援している。 | | 面会や家族面談時に情報交換し、ご本人やご家族にとって安心安全に過ごせる様に支援している。 |
| 32 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている | 可能な限り常に連絡を取り合いながら、ご家族の方の協力を得ながら今までの関係が続けていける様にしている。 | | お手紙やお電話などで連絡したり、御入居者の体調など考慮したうえで、外出などと入れている。 |
| 33 | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | 一人一人が孤立しない様に、レクリエーションなど含み交流が図れる様に努力している。 | | 外出レクなども含み他ホームの方との交流も大切にしている。 |
| 34 | 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | ホームを退去になられた後も転院した病院へお見舞いに行ったりし、関係を保っている。 | | 退去後、亡くなられた方もいるが、ご家族の方より、自宅で栽培された季節の野菜やお花をいただいたりといった長い付き合いも続いている。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------|---|--|--|
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | |
| 1.一人ひとりの把握 | | | |
| 35 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>常に個別のケアを大切にしご本人の希望・意向に出来るだけ添える様に日々努力している。</p> | <p>1つひとつの会話などによりご本人様が何を求めているのかを、しっかりと受け取る努力をしている。</p> |
| 36 | <p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p> | <p>今までのご本人の生活状況など詳しい情報をご家族よりお聞きし個々人のフェースシートを作成している。</p> | <p>お薬など変更や追加がある場合は常に情報を追加している。【ご家族の方に通信や面会時に報告している。】</p> |
| 37 | <p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p> | <p>日々の状態を常に把握する為に個人記録の記録に全職員が関わり共有する様に徹底している。</p> | |
| 2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | |
| 38 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>より良いプランにつなげる為に個別面談・家族面談を行い定期的にカンファレンスを行い、介護計画書の作成をしている。</p> | <p>まず、御入居者ご本人の希望・要望を優先したプランを作成する為に全職員での意見交換を行っている。</p> |
| 39 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>状態が急遽変化した場合は、その都度緊急ミーティングを開催し全職員で情報を共有しリスク見直しを行っている。</p> | <p>3ヶ月に1度見直しを行っているが、それと共にその方の状態変化に応じその都度見直しを行っている。</p> |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|---|---|-----|---|
| 40 | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 介護記録を含めご家族へ毎月郵送する通信に評価も行き、日々の気づきなどをどの様にプランにつなげるのか、常に検討している。 | | 定期的なカンファレンスや、朝・夕の申し送りの時間などで話し合う機会を設けている。 |
| 3.多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 41 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 出来るだけご本人の希望を受け入れ、家庭的な雰囲気や困りを大切にしている。 | | 各人の要望に応じられるように、可能な限り受け取り安心して生活出来る様に支援している。 |
| 4.本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 42 | 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 定期的に防災訓練を行い、その都度指導を受けている。また、ボランティア募集など通信などでお知らせしている。 | | 地域の中学生の体験学習を含め積極的に協力している。【専門学校生ボランティア研修等の受け入れ態勢も整っている。】 |
| 43 | 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | 入居者の状態に応じて、週3回の訪問マッサージなどの利用も行っている。 | | |
| 44 | 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 常に情報交換も含め地域包括支援センターの方との連携を図っている。 | | |
| 45 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 主治医・看護師との連携もしっかりと取れており緊急時や日々の状況についても直ぐに対応していただいている。 | | 定期的な往診・受診の際に相談し助言をいただいている。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|---|-----|---|
| 46 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 1人1人の現状を常に相談し状態により助言や指示をいただいている。＜入居者ご本人が直接看護師と話をされる時間もある。＞ | | 訪問看護も含め往診の際に1人1人に様子を尋ねられるなどし、相談もしやすい。 |
| 47 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | 定期往診や訪問看護の際に日々の状態報告と健康管理など医療相談を受けている。 | | 往診や直接医院へ出向きいつでも相談出来る体制を取っている。 |
| 48 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるようまた、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 常に情報交換を行い、出来るだけ早期発見出来るように連携を図っている。 | | 情報収集した情報は、その都度全職員にしっかりと共有し申し送れる様に日々努力している。 |
| 49 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 常にご家族との連絡を取り日々の御入居者の状態が変化する中で、主治医を中心にして看取りについての同意書をいただく様にしている。(ご家族へ十分な説明した後に) | | 日々状態が変わる中で、特変時は、しっかりと申し送る様に徹底している。 |
| 50 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 常に主治医と連携を取り合いながら、日々の状態変化に応じながら検討し取り組んでいる。(医療連携を図りながら、ホームで出来る限りの支援を行っている。) | | 常にしっかりと状態の把握し全職員が連携を取る様に日頃より徹底している。 |
| 51 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | ご本人に出きるだけ、負担が掛からない様に十分な話し合いを行い、生活状況が急に変わらない様にしっかりと情報交換を行っている。 | | 住み替えにあたり出来るだけダメージを軽減出来る様に情報交換等に十分に注意し取り組んで行く。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|--|---|
| .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | |
| 1.その人らしい暮らしの支援 | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | |
| 52 | <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> | <p>1人1人のプライバシーを損ねないように常に、気を付けており、常に尊敬の念で接する事を徹底している。</p> | <p>個人情報に関する物も排泄表も含み御入居者・外部の方の目の届かない所にまとめるようにしている。</p> |
| 53 | <p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたい納得しながら暮らせるように支援している</p> | <p>出来るだけ、ご本人が自己決定出来るように職員側の思いで決め付けずに、ご本人の希望を可能な限り叶えられる様に努力している。</p> | <p>ご本人の思いを常に表せる様に、意見など尊重しながら支援している。</p> |
| 54 | <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>その人らしい生活が日々送れる様に、個々人の生活パターンをしっかりと把握し、入居者の方にとって日々充実して過ごせる様に工夫している。</p> | <p>状況により希望通りにならない事も時々あるが、出来るだけその方の希望に添える様に工夫している。</p> |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | |
| 55 | <p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> | <p>定期的に訪問理美容を利用しながら、お化粧品などその方に応じて支援している。</p> | <p>以前より身だしなみを特に気にされている方には、今まで通りお洒落が出来るようにし、馴染みのない方にも外出などを機会にきっかけを作る事も大切にしている。</p> |
| 56 | <p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | <p>出来るだけ、御入居者一人ひとりが関われる様にし、ご本人にとってのやりがい、役割を持てる様に支援している。</p> | <p>好まれる物は、それぞれ違う中で見た目・味など考慮しながら、楽しみを持って食事出来る環境作りに努めている。</p> |
| 57 | <p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p> | <p>お酒やお菓子など体調管理を含め、主治医などに相談しながら、可能な限り提供している。</p> | <p>その方の健康状態に十分注意し特に血糖値・血圧などの指示のある方など十分に考慮しながら提供している。</p> |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|--|---|-----|---|
| 58 | 気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | 日々の生活の中で各人の排泄状況を把握し出来るだけ、自然な排便につながる様に誘導など行っている。 | | ご本人に失禁等で精神的な負担がかからない様に定期的なトイレ誘導を行っている。 |
| 59 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 可能な限り毎日入浴される方もいる。時間や順番なども決めずにその日の気分や状態に応じ入浴していただいている。 | | 入浴拒否のある方もいるが、声掛けの工夫や雰囲気を変え出来るだけ楽しみを持って入浴していただける様に、支援している。 |
| 60 | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | 個々人の生活パターンに応じ安心して休んでいただける様に寝る前の時間に傾聴や、テレビ視聴などし精神安定を図れる様に努力している。 | | 適度な運動を心掛け夜しっかり睡眠が取れる様に工夫している。 |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 61 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 1人ひとりに応じた役割や日々の日課となる事を提供し、無理なく楽しく生活出来るように支援している。 | | 以前されていた事などご本人の負担にならない様な事を継続していただける様に支援している。 |
| 62 | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ご本人の所持されているお金は、いつでも状況に応じ買い物など、外出された時に利用されている。 | | 立替金制度ではあるが、所持金やお預かり金と全て明確に管理している。 |
| 63 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | レクリエーションも含め全体や個別での外出レクや散歩など行っている。 | | 買い物や庭や屋上でのひなたぼっこを楽しんだり、体調など状況に応じ支援を行っている。 |
| 64 | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している | 一時帰宅・外泊等、ご家族の方の協力を得ながら実施している。またご本人の好まれる場所への外出など積極的に行っている。 | | ホームの車やバス・電車などを利用しご本人の負担を視野におきながら、出来るだけ可能な限り実施している。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------|---|---|-----|--|
| 65 | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり手紙のやり取りができるように支援をしている | ご本人が希望される時は、常に対応出来る様になっている。また、年賀状などを欠かさず書かれてる方もいる。いつでも電話対応出来るようにしている。 | | 年賀状など今後も継続し交換し続けたいと思っている。 |
| 66 | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | いつでも訪問していただける様に、気軽に訪問していただき常に居心地良く過ごしていただける様に努力している。 | | どなたが訪問されても、いつでも居心地良い環境である様に工夫して行く。 |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | |
| 67 | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 委員会を設置し毎月定期的に話し合いを行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | | 全職員で常に情報の共有を行い色々な情報収集を行い、正しく理解したうえでケアに取り組んでいる。 |
| 68 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており鍵をかけないケアに取り組んでいる | ホームは電子鍵であるが、入居者様の安全確保をしながら、また、天気などに応じ鍵を開放している。 | | いつでも、外出出来るように、鍵をかけないケアの実施を行っている。 |
| 69 | 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | 常にプライバシーに配慮しながら、昼夜の安全にも十分配慮し事故防止に努めている。(定期的な巡視・状況に応じて小まめな巡視に心掛けている。) | | 日中・夜間共に日々の状態が変わる中で常に安全面を考え支援している。 |
| 70 | 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | 保管・管理に関して出来るだけご本人の了解を得て、対応する様にしている。 | | 状況に応じて職員の見守りのもと、使用する様に心掛けている。 |
| 71 | 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | 常に他施設との連携も取り情報収集を行い、未然に防げる事を見極め対応している。 | | 定期的に内部・外部研修に参加し事故防止に努めている。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|---|--|-----|---|
| 72 | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 常に的確な対応が出来るように定期的に、研修や勉強会を実施している。 | | 常にマニュアルなど目を通し日頃より把握はしているが、急変時の対応経験が少ない為に今後も定期的な研修を行なう |
| 73 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 地域の方への働きかけも含め、定期的に避難訓練も出来る様に努力している。 | | 常に冷静な対応が出来る様に定期的な訓練は、今後も行っていく。 |
| 74 | リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | 今あるリスクと共に今後考えられるリスクについて、ご家族へ伝え全職員で話し合う機会を増やし、定期的なミーティングを行っている。 | | しっかりとリスクを把握しその方のケアプランに、リスク軽減に努めている。 |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | |
| 75 | 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し対応に結び付けている | 日々の生活の中で少しの気付きも大切にし常に全職員で共有が出来るように常に心掛けている。 | | 体調変化など、早期発見に努めご家族・職員等に即申し送り、的確な対応が出来る様にしている。 |
| 76 | 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 日々の状態把握をしっかりと行い、少しでも状態変化があった際には、早急に主治医など連絡する様にしている。 | | 1人ひとりの服薬状況を把握し異変時など、しっかりと報告し相談出来る体制を取っている。 |
| 77 | 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | メニューの工夫で食物繊維の多く含む物や、こまめな水分補給を心掛け、便秘の予防に努めている。 | | 日々、適度な運動を心掛けゆとある時間が、過ごしていただけるように、工夫している。 |
| 78 | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 週1回の歯科往診と毎食後の口腔ケアの徹底を行っている。(状況に応じその都度歯科衛生士などに相談している。) | | 出来るだけ自立にて口腔ケアをしていただき、不十分な部分の一部支援を行っている。状況に応じその都度、支援行っている。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|--|--|-----|---|
| 79 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | その方にあった量に気を付け盛り付けを行っており、1日1500ccを目安に水分補給を行っている。(トロミ粉など使用し嚥下にも十分に注意している。) | | ご本人にとって負担にならない様に、工夫し栄養バランスに十分に注意し、小まめな水分補給も行っている。 |
| 80 | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | 委員の設置もしており、全職員がしっかりとした意識を持ち、予防と対応に努力している。(毎月のミーティングにて再度職員同士確認している。) | | 予防と対応について、内部研修など行いマニュアルの作成をし、常に把握と実施に努めている。 |
| 81 | 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 食中毒に常に注意し、毎食後の消毒や煮沸消毒など徹底している。(布巾・まな板などハイター消毒の徹底も行っている。) | | 野菜や魚類は特に生では使用せず必ず火を通す様に徹底している。(酢水・氷水などの使用もしている。) |
| 2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | |
| 82 | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | ホームの周辺に草花を入れたポットなど設置し毎日、外掃も行っている。 | | 天気などその日の状況を考慮し出来るだけ開放的な環境作りに力を入れている。 |
| 83 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 常に、季節感を感じ取っていただける様に、季節の草花や季節感のある写真など(外出レクの写真など)を飾るなどしている。 | | 共有スペースは特に御入居者・ご家族にとって常に居心地の良い場所になる様に日々工夫している。 |
| 84 | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 数箇所にソファなど設置しており、自由に過ごせるスペースを提供している。(状況に応じテーブルの位置を変更し気分転換を図る事もある。) | | 席順など特に決めず自由に座れる様にしている。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|--|---|-----|--|
| 85 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居される前より使用されていた、使い慣れた家具など持ち込んでいただき、今ままでとあまり変えず居心地良く過ごしていただける様に工夫している。 | | 持ち込み出来る物は、可能な限り持って来ていただき以前と同じ様に過ごせる様に支援している。 |
| 86 | 換気 空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | 常に温度・室温調整はこまめに行い出来るだけ、外気温と差が出さない様にしている。また、気になる匂いも十分注意し不快な思いにならない様に工夫している。 | | 匂いなどで不快な気持ちにならない様に芳香剤など使用し換気など行い匂いの軽減に努めている。 |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |
| 87 | 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 出来るだけ自立した生活ができる様に安全な環境作り心掛けている。 | | 御入居者の視野など考え少しでも危険だと考えられる事は、直ぐに検討し危険防止に努める。 |
| 88 | わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | 視力低下や認知度により他入居者とのトラブル防止の為に個人の手帳やその都度声掛けを行い工夫している。 | | 混乱や失敗があったとしても、その方のペースに合わせて対応して行く。 |
| 89 | 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり活動できるように工夫している | 体調など考慮したうえで、屋上でおやつを召し上がったたり ひなたぼっこを楽しんだり 行事など行っている。 | | ホーム周辺に花壇を作りいつでも自由に入居者が、楽しく過ごせる様に環境作りを行っている。 |

| .サービスの成果に関する項目 | | 最も近い選択肢の左欄に をつけてください。 | |
|----------------|--|-----------------------|--|
| 項 目 | | | |
| 90 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ほぼ全ての利用者の | |
| | | 利用者の 2/3 くらいの | |
| | | 利用者の 1/3 くらいの | |
| | | ほとんど掴んでいない | |
| 91 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | 毎日ある | |
| | | 数日に 1 回程度ある | |
| | | たまにある | |
| | | ほとんどない | |
| 92 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の 2/3 くらいが | |
| | | 利用者の 1/3 くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 93 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の 2/3 くらいが | |
| | | 利用者の 1/3 くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 94 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の 2/3 くらいが | |
| | | 利用者の 1/3 くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 95 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の 2/3 くらいが | |
| | | 利用者の 1/3 くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 96 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の 2/3 くらいが | |
| | | 利用者の 1/3 くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 97 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ほぼ全ての家族と | |
| | | 家族の 2/3 くらいと | |
| | | 家族の 1/3 くらいと | |
| | | ほとんどできていない | |

グループホーム ウイズライフ新宮

| 項 目 | | 最も近い選択肢の左欄に つけてください。 | |
|-----|---|----------------------|--|
| 98 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ほぼ毎日のように | |
| | | 数日に1回程度 | |
| | | たまに | |
| | | ほとんどない | |
| 99 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 大いに増えている | |
| | | 少しずつ増えている | |
| | | あまり増えていない | |
| | | 全くない | |
| 100 | 職員は、生き生きと働いている | ほぼ全ての職員が | |
| | | 職員の 2/3 くらいが | |
| | | 職員の 1/3 くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 101 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の 2/3 くらいが | |
| | | 利用者の 1/3 くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 102 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての家族等が | |
| | | 家族等の 2/3 くらいが | |
| | | 家族等の 1/3 くらいが | |
| | | ほとんどできていない | |

【時に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

常に地域密着について、積極的に取り組んで行きたい。(地域行事への参加を積極的に行う。)ホームでの行事に地域の方も招き交流を図っていききたい。また、御入居ご家族との信頼関係を築ける様に日々の会話により、望まれている事などを察知する。